

北の スポボラ

スポーツをする楽しみ
見る楽しみ
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道

北海道マラソン 3年ぶり復活 新たな出発 ボランティアの支えで



北海道マラソンが3年ぶりに復活します。8月28日（日）午前8時30分、札幌・大通公園の西4丁目から2万人のランナーが走りだします。

東京2020オリンピックのマラソン・競歩の札幌移転、新型コロナウイルス感染症が世界へ拡大してオリンピックが1年延期になった影響で、2020大会と2021大会は休止を余儀なくされました。

そして開かれる2022大会。多くの苦難を乗り越えて実現した札幌での五輪マラソンのレガシー（遺産）をしっかりと受け継いだ大会を目指しています。

大迫傑選手が気迫の追い上げを見せた創成川通から宮の森・北24条通を通り、フィニッシュは北海道庁赤れんが庁舎前から駅前通、大通西4丁目。2019年大会から一部変更されたコースはオリンピックマラソンの記憶がよみがえります。制限時間は5時間から1時間延びて6時間になります。

ランナーの渾身の走りとは市民の応援がサッポロの街に戻ってきます。それを支えるにはボランティアの熱い思いと力が何より必要です。北海道マラソンの新たなスタートを、多くの皆さんに後押ししていただけるようお願いいたします。

目次

北海道マラソン2022特集

- 定員、制限時間、コースは ②
- コロナ対策でガイドライン ②
- きめ細かくコロナ、暑熱対策 ③
- 健康の雑学 ブルーライト ③
- スポーツボランティアのキホン ④